

資料 7. 放射線計測器の使用法（当日持ち出し用）

個人線量管理用 放射線計測器

1. ガラスバッジ

特定の個人専用で使うものです。その人が 1 ヶ月あたりに被曝した量を、測定会社に返却して数値を読み出してもらいます。第三者機関による測定のため、もっとも信頼性が高いとされています。



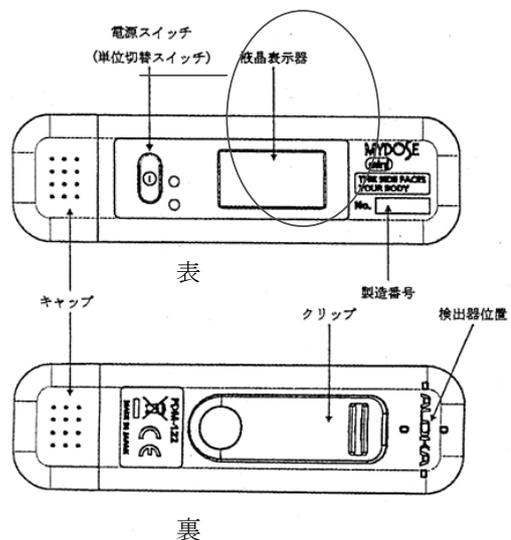
東京のレスキュー事務局で受け取り、帰京したらすみやかにレスキュー事務局に戻してください。必ず胸につけてください。できれば、携帯電話のそばには置かないでください。

2. ポケット線量計

全部で 4 台あります。屋外と屋内に作業が分かれる場合には、各グループに行き渡るように配分に気をつけてください。1 作業場所については、できる限り、同じ人がつけてください。

今回は、東京を出るときに電源を入れ、積算値を管理簿に記録する方式とします。東京のレスキュー事務局で受け取り、帰京したらすみやかにレスキュー事務局に戻してください。

胸につけます。携帯電話の発する電波に敏感に反応するので、必ず携帯電話から 20cm を目安に離してお使いください。



資料の放射性化学物質汚染量測定用 放射線測定器 —GM サーベイメーター—

資料や車両、作業衣の表面汚染を調べる機器です。
屋内に入ってから電源を入れてください。

①空間のバックグラウンドを測定する
床からの高さ 1m
資料から 1m 以上離れた場所で
時定数 10 秒
ストップウォッチまたは時計を用いて、
30 秒後、60 秒後、90 秒後の測定値を記録

②資料の放射線量の高そうな場所（塵埃の体積しやすい場所など）で測定・記録
時定数 10 秒
資料にできる限り近づける
30 秒後、60 秒後、90 秒後の数値を記録

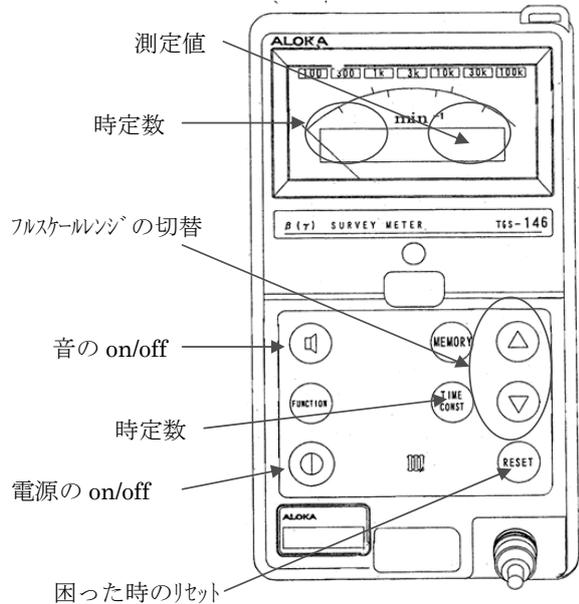
- ・薄葉紙で保護した状態での測定 可
- ・今回梱包された資料のうち、ダンボール箱に入っている場合は、開梱して測定。
- ・2011 年 3 月以前から収納箱に入っている資料は収納箱の外側を測定。

③ラベルに線量を記録
「白、黄色、赤」のテープをラベルに貼る。
白： 650cpm 以下
黄色： 650cpm～1300cpm
赤： 1300cpm 超

④梱包、ラベルを梱包の外に見えるように

⑤ ②→③→④ を繰り返す

⑥全作業終了後、空間のバックグラウンドを測定する



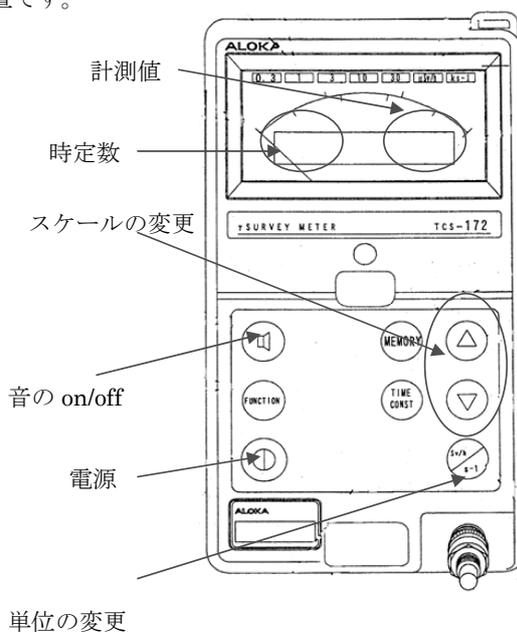
人への影響を知るための空間線量率測定—シンチレーションサーベイメータ—

人の健康影響を把握するために空間線量を測定する装置です。
屋内に入ってから電源を入れてください。

各室で計測
高さ 1m の位置
5 点 (四隅と中央)
時定数 10 秒
ストップウォッチまたは時計を用いて、
30 秒後、60 秒後、90 秒後の値を測定・記録

- ・単位が $\mu\text{Sv/h}$ となっていることを確認する
- ・電池寿命が短くなるので、音は出さない

作業前と作業終了時に計測



シンチレーションサーベイメータ

プローブは衝撃に弱いので、ぶつけないこと。